

豊原北島神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

舒明天皇6年(634)豊前国宇佐より勧請、神社東の鎮座石の上にわらをとぎ敷いて奉祀したことから、「ときわら」が荘名の「とよはら」となったと社伝にいう。北島は往古この地が島であったことを示し、豊原荘北島に座す神社で延喜式外の古社、従五位上豊原北嶋明神・上八幡大菩薩・正八幡宮ともいわれ、平安時代には近衛天皇の勅願所・白河・後鳥羽院領の鎮守神でもあった。平安末、山続きの今木城では源平合戦が行われ、また、源氏の武将佐々木盛綱は児島藤戸合戦の折、戦勝を祈願して甲冑・武具を奉納、鎌倉末から南北朝時代には児島高德の同族といわれる大富・和田・射越氏などが氏子より興って南朝方として活躍した。社殿もこれらの兵火などによって焼失したといわれるが、領家・領主・氏子により造営・神領の寄進が行われた。現社殿は、本殿を大正8年に、他を昭和14年に昔の様式によって鎮座1300年を記念して改築した。

神社を中心に両側に寺坊の建ち並ぶ形は、平安時代の神仏習合(本地垂迹)の形をとどめている今では珍しい古い形で、神仏の分離は藩主池田光政により行われ、寛文6年(1666年)余慶寺本乗院良庸が還俗して神職となり代々相続している。六代業合大枝(なりあいおおえ)は、本居宣長・平田篤胤・藤井高尚の門人で歌人、国学者。「新学異見弁」・「古事記神代記新釈」などの著があり、境内に歌碑・神社東に旧宅がある。

明治3年豊原北嶋神社と社名を改め、明治4年郷社、明治41年神饌幣帛料供進神社となった。

前の写真へ次

基本情報

神社コード 08025

神社名 豊原北島神社(トヨハラキタジマジンジャ)

通称名

旧社格 郷社

鎮座地 〒701-4232 瀬戸内市邑久町北島1186

電話番号

FAX番号

駐車場 有 10台

御祭神 応神天皇, 神功皇后, 比め大神, 豊原北島神, 品陀和気命

御神徳

主な祭典 10月第3日曜日: 秋祭

宮司宅電話

URL

e-mail

特記事項

氏子地域

岡山市東区（西大寺五明、西大寺射越、西大寺新地、西大寺門前）、瀬戸内市（邑久町向山、邑久町北島、邑久町北島上寺東）

交通アクセス

JR赤穂線、大富駅から南東へ約1000m

神事一覧

ねつけ祈禱（村祈禱）

祭礼日時：7月末8月始8時 文化財指定： 無 [神事詳細](#)

夏越祭

祭礼日時：8月1日2日3日 文化財指定： 無 [神事詳細](#)

[検索画面に戻る](#)



© 2016 Okayamaken Jinjacho